

LOCK-N-STITCH JAPAN News Letter(vol.3)



LOCK-N-STITCH JAPAN News Letter

June-2006

LOCK-N-STITCH JAPAN NEWS へようこそ

はじめに

弊社は、特殊ネジを使用して、金属に発生したクラックを修理を行うエンジニアリング企業です。

さて、前号でもお知らせ致しましたが、2006年6月21日～23日の期間にて、東京ビッグサイトにて、開催されます「第10回機械要素技術展」に出展を予定しております。

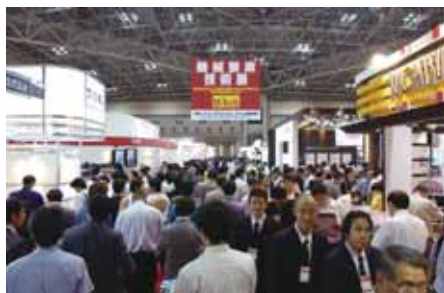
この度、特殊ネジを利用したネジ穴補修用のインサートキットの販売を開始することとなりました。販売開始に先立って、展示会期間中の先行予約を受け付けております。

弊社は小間番号30-001にて出展致します。

ご来場をご検討の方は、招待状を発送いたしますので、弊社までご連絡下さい。

なお、招待状がない場合、入場料として、¥5,000-がかかりますので、当日は招待状をご持参下さいませ、宜しくお願い申し上げます。ご来場の際は、是非弊社ブースへお立ち寄り頂きたく存じます。

M-Tech 第10回機械要素技術展 10th MECHANICAL COMPONENTS & MATERIALS TECHNOLOGY EXPO 2006



会場の様子



弊社ブース



弊社ブースは東6ホール出入口から入りまして、左手に御座います。

目次:

LOCK-N-STITCH 機械要素技術展 出展のご案内	1
Full-Torqueインサートの 2~3 施工方法について	
最近の施工実績について	3

ハイライト:

- 第10回機械要素技術展 出展のご案内
- Full-Torqueインサートの 施工方法について



Full-Torque インサートの施工方法について

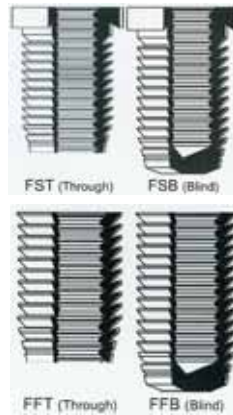
今回は、インサートキットの使用方法についてご紹介させて頂きたいと思っております。

The Art of Crack Repair
& Thread Inserts

Full-Torque インサートの施工方法について

インサートの種類

弊社のインサートには、大きく分けて、FFタイプとFSタイプの二つの種類があります。両者とも締め込むと、牽引力が働く構造なのですが、発生する牽引力に違いがあります。FSタイプのほうが、より大きな牽引力を発生する構造ですが、FFタイプよりも作業工程が多くなってしまふというデメリットもあります。FFタイプは、主に、ボルトホール内のネジ山がつぶれてしまった場合（ボルトホール周辺にクラックがない場合）に使用されます。FSタイプは、ボルトホール周辺にクラックがあり、ネジを締めるとクラックが広がってしまう様な状況において使用されます。



Full-Torque インサートのパッケージ

インサートの施工手順について

①



コーナー部のボルトホールのクラックは、FSタイプインサートを使用するのに適しています。ネジ山を修復し、クラック部を補強することが出来ます。

②



ドリルビットを修理するボルトホールのセンターに合わせてインサートの底面が当たらないように、インサートの長さよりも約4mm深くドリル加工します。

③



SPOTFACERをチャックし、タッピングフルード (L750) をさしながらSPOTFACEを加工します。

④



タッピングフルード (L750) をさしながらタップを加工します。

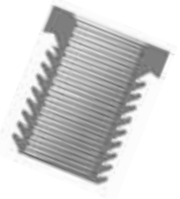
⑤



インサート締め付けネジに焼き付き防止剤を塗りインサートへ挿入します。

Full-Torque Insert

ボルトホール内の補修に使用されるものです。従来品に比べ、母材の周囲に拡散力を生じない為、補修する部品の母材強度を低下させることなく補修できます。



The Art of Crack Repair & Thread Inserts

⑥



タップホールにシーラント(LHC724)を塗り、インサートを締め込みます。

⑦



スタッドボルトがナットと一緒に回らないようにレンチで固定します。

⑧



インサート固定用のピンを入れるために、治具を用いドリル加工を行います。

⑨



固定ピン用の穴にシーラント(LHC724)を塗り、ピンを挿入します。

⑩



表面を仕上げ加工し、修理完了

CASTMASTER™

特殊ネジ

(Cシリーズステッチングピン)の特徴

ねじを締め込むことで牽引力が発生します。

施工箇所には耐圧力性能を持たせることが可能です。(200kgf/cm²以上)



LNS LOCK

クロムモリブデン鋼SCM430に焼き入れ処理を施したもので、クラック部の補強に使用されます。



〒950-1184
新潟市北場1087番地9

電話 025(370)6622

FAX 025(377)0033

Email: info@lnsjapan.com

www.lnsjapan.com

金属クラック修理の革新!!

解説

以上にて、FSタイプの施工手順をご紹介いたしました。FFタイプの場合、FSタイプの手順③が省略されます。

今回ご紹介しましたインサート各種をキットとして販売する運びとなりました。初回受注分として、2006年機械要素技術展の弊社ブースにて、先行予約を承ります。ご購入を検討の方は、この機会に是非、機械要素技術展弊社ブースへお越しいただければと思います。ご希望の方は、弊社宛にご連絡頂ければ、招待状を発送致します。

最近の施工実績について

最近、LNS-JAPANでは、国内発電設備のクラック修理を複数箇所にて実施致しました。お客様の設備で、「このような箇所の修理はできないだろうか?」といったお困りの事がありましたら、お気軽にご連絡下さい。また、製品への組込などをご希望の企業様も随時、ご相談に応じております。

あとがき

この度は、本ニュースレターを最後までご覧頂きありがとうございました。

今後も、弊社の活動の内容や施工実績など、皆様にお知らせして行きたいと考えております。



The Art of Crack Repair
& Thread Inserts